

善光寺のご縁に因み壇信徒で参詣

10月21・22日 長野・善光寺へバスツアー

長野善光寺を参拝

皆さんもご存知のように善光寺という名前のお寺はこの横浜日野の善光寺のほかにも、宗派を超えて日本中に数多くあります。その中でもより多くの人々に知られている長野善光寺が平成五年に調査した結果、全国には四百四十三体の善光寺仏があり、私共と同じように「善光寺」を正式な寺名とする寺院は百十九を数えます。

そんなご縁のもとに平成五年十一月、「第一回善光寺サミット」が開催され、善光寺如来の仏徳を後世に伝え、世界平和に寄与することを目的

とした有志の集いとして、「全国善光寺会」が設立されました。そして、私共横浜・善光寺もこの目的に賛同して「全国善光寺会」に参加しております。

平成の大改修を終えた長野の善光寺は今年「善光寺イヤー」と銘打ち、約四十年にわたって中断されていた山門二階への登楼参拝を再開するなど、特別な年にふさわしい催しを行っています。

大勧進での法話と本堂でのお経

十月二十一日、横浜善光寺の壇信徒一行はこ

の特別な年に因んで長野・善光寺に一泊二日の参詣旅行に出かけました。今回の旅行は参加者も多く、バス二台に分乗。朝七時に横浜を出発したバスは昼前に長野・善光寺に到着しました。

善光寺では宿坊の一つ常智院で昼食をとった後、特別に山内寺院である大勧進で法話をいただき、本堂内陣でのお経のあと、本堂の祭壇下の真つ暗な通路をめぐる「お戒壇めぐり」に進みました。続いて自由行動の時間では山門の特別参拝に行ったり、参道のお店でお土産を買ったり、善光寺での限られた時間をギリギリまで楽しみました。

横浜善光寺の源流興国寺で先祖代々の供養

今回の旅行にはもう一つの目的がありました。それは横浜善光寺開山白純大和尚の奥様、博志住職の祖母にあたる黒田嘉さんの実家、須坂市



長野・善光寺



住職の水野孝道老師とあいさつをされる倫子先代方丈夫人

の興国寺で先祖代々の供養を行うことにありました。善光寺から約三十分ほどの行程で興国寺に到着。博志住職は、まず、住職の水野孝道老師にあいさつを述べ、歴代住職を祀る墓所にてお勤めいたしました。横浜善光寺の源流の一端ともいえるこの場所で、壇信徒一行もお詣りをしました。このあと一行は大町温泉郷で一泊し、翌二十一日は松本市の開智学校や国宝松本城などを見学しながら、ゆったりと帰路につきました。



興国寺山門にて



興国寺31世玄慶朴翁大和尚墓前供養



皆さまと共に



国宝松本城にて